



アストンマーティン Vantage がオースティンで優勝、 The Heart of Racing はダブル表彰台を獲得

- アストンマーティン Vantage、サーキット・オブ・ジ・アメリカズ開催のローンスター・ル・マンで 2026 年 WEC 初勝利
- The Heart of Racing、ホームレースにて FIA 世界耐久選手権初のダブル表彰台
- ザック・ロビションとマティア・ドルディにとっては初の WEC 優勝、チーム代表イアン・ジェームズは 3 年ぶり 2 度目の COTA 優勝
- 土曜日開催の予選で THOR がフロントローを独占
- アストンマーティンのパートナーチーム Grange Racing by FSR は、初めてアストンマーティン Vantage で挑むシーズンで British GT GT4 の Pro-Am タイトルを獲得



2026 年 9 月 6 日、オースティン（米国テキサス州）：

サーキット・オブ・ジ・アメリカズ（COTA）開催のローンスター・ル・マンでアストンマーティンのパートナーチーム The Heart of Racing のイアン・ジェームズ（英国）、マティア・ドルディ（イタリア）、ザック・ロビション（カナダ）が優勝し、アストンマーティンの歴史

の中で最も成功を収めているレーシングカー**Vantage** が 2026 年 FIA 世界耐久選手権（WEC）にて初勝利を収めました。

米国を拠点とする **The Heart of Racing** は、ポールポジションを獲得した 23 号車 **Vantage GT3** のグレイ・ニューウェル（米国）、ドウドゥ・バリチェロ（ブラジル）、ジョニー・アダム（英国）も 3 位に入り、初の WEC ダブル表彰台獲得を果たしました。この 3 名が表彰台に立つのは、6 月のル・マン 24 時間レースでの 3 位に続き、3 戦で 2 度目となります。

今回は初の WEC フロントロー独占と、**Vantage** にとって輝かしい週末となりました。この傑出した GT3 レーサーである最新世代 **Vantage** は、ウルトラ・ラグジュアリー・ハイパフォーマンス・ブランドであるアストンマーティンが最も磨きあげたスポーツカーと同じメカニカル・アーキテクチャを採用し、アストンマーティンが誇る信頼性の高い接着アルミニウム構造シャシーをベースに、圧倒的なパフォーマンスを発揮する 4.0 リッター V8 ツインターボエンジンを搭載しています。

グリッド 2 番手からスタートしたジェームズは、厳しい戦いとなった序盤の 1 時間にも冷静さを失わず、トラブルを避けながら首位争いができるポジションを維持し、2 番手で 27 号車 **Vantage GT3** をロビションに渡しました。ロビションは 2 時間目に先頭を走るボルシェを追い抜き、クラス首位に浮上し、力強いスティントを終えて仕上げをドルディに託しました。ドルディはレース終盤に出動したセーフティカーの重圧にうまく対処し、最後の 45 分にボルシェを引き離して、27 号車 **Vantage** の COTA における 3 年ぶり 2 度目の優勝を確保しました。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは次のように述べています。「**Vantage** は見事なパフォーマンスで、パートナーチームの **The Heart of Racing** は素晴らしい結果となりました。2026 年、**Vantage** は WEC で高い競争力を発揮し続けていて、長く優勝を期待されていました。このような状況の中、THOR の 2 台のドライバーたちが全員表彰台に上がっている姿は、この週末にマシンがどれほど優れたパフォーマンスを発揮できたのか、そしてチームがどれほど高いレベルで戦っているのかを明確に示していると思います」

23 号車 **Vantage GT3** は、ニューウェルとアダムの好調なスティントもあり、接戦が続いたレースの中で常に上位 6 位以内のポジションを維持していました。最後のセーフティカー後、23 号車は激しい 3 番手争いに突入し、有望な若手バリチェロが 6 月のル・マン 3 位に続く 3 戦で 2 度目の表彰台を獲得しました。

ドルディはチェッカーフラッグを受けた後、次のように述べています。「これまで経験した中で最も厳しいスティントの一つだったと思います。ザックと私の交代で前のマシンをアンダーカットするというチームの戦略はとてもよかったと思います。優勝を目指して 1 シーズン半、

常に何かしらの阻まれて目標を達成できずにいました。ようやく初勝利を挙げられたことと、23号車も3位に入ったことをうれしく思います。本当によかったです」

同じく WEC 初勝利のロビションは次のように述べています。「今いちばん感じているのは安堵です。過去2年間、何度もあと少しというところまで行っていましたし、この結果にふさわしい努力もかなり重ねてきました。クリーンなレースであれば私たちに何ができるかが、証明されたと思います。今はまず自分たちをほめて、この瞬間を楽しみたいと思います」

THOR のチーム代表でもあるジェームズは次のように述べています。「やっと重い荷を降ろせた感じがします。過去2シーズンとも今一步及ばない中で、今回このように週末を通して全体的に素晴らしい成績を収めて1位と3位を獲得できたことは、このチームとチームの実力について雄弁に語っていると思います」

今回の成績により、The Heart of Racing の23号車は LMGT3 チームの FIA 耐久トロフィーの4位に浮上しました。3位の92号車ボルシェとは同じ49ポイントで、チャンピオンシップ首位とは27ポイント差となっています。優勝した27号車 Vantage は、44ポイントで6位に上がりました。残り3戦で78ポイントの獲得が可能であるため、どちらもタイトルを狙える位置にあります。LMGT3 ドライバーの FIA 耐久トロフィーでは、ニューウェルとアダムが49ポイントで6位に入り、そこから5ポイント差のジェームズ、ドルディ、ロビションは9位に順位を上げています。

Vantage、Grange Racing by FSR の活躍で ブリティッシュ GT4 チャンピオンに

アストンマーティンのパートナーチーム Grange Racing by FSR とドライバーのダニエル・ラベリー（英国）、ダレン・ターナー（英国）は日曜日、ドニントン・パークで、残すところ1レースのブリティッシュ GT における GT4 の Pro-Am クラスのタイトルをいち早く獲得しました。

Grange Racing by FSR は2026年初めに新しく結成されたチームですが、雨に見舞われた今回の2時間レースで5勝目となる連続優勝を果たしました。ラベリーにとっては、ブリティッシュ GT で華々しいデビューを飾ったシーズンとなりました。アストンマーティンのワークスドライバーであるターナーは、これまで2021年と2022年に先代 Vantage でクラスタイトルを獲得し、今回は3度目の GT4 Pro-Am タイトル獲得になります。

現在の Vantage GT4 のブリティッシュ GT タイトル獲得は、2024 年に Forsetti Motorsport が GT4 のシルバークラスおよびチームのチャンピオンに輝いたのに続き、今回で 3 度目です。

ラベリーとターナーは、MK Racing のウィル・オートン（英国）とジェシカ・ホーキンス（英国）とともに、GT4 の総合タイトルを狙える位置をキープしながら、9 月 26 日～27 日にフランスハッチで開催されるシーズン最終戦に臨みます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-oSSwMdLXC3mOTKwd>

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって 1913 年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBXに加え、同社初のミッドエンジン・ハイブリッド・カーであるValhallaなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは「ブレンドドライブレインアプローチ」による内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つというプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp